

まちのできごと

若草保育所消防士体験 消防士になりきって

秋の火災予防運動の一環として、若草保育所で消防 士体験が行われました。

園児たちは、火災を想定した避難訓練を行った後、 消防車と記念撮影し、救急車の中を見学しました。そ の後、年長組の園児たちは防火服とヘルメットを装着 して消防士に扮し、消火活動を体験しました。放水の 勢いにびっくりしながらも負けないようしっかりと足 を踏ん張り、的に向けて水を掛けていました。



↑放水の勢いに驚く園児



平成 30 年度「ふれあい広場 in おうむ」 世代間で交流を

地域福祉に対する諸問題について認識を深めながら 世代間交流を図ろうと、町社会福祉協議会主催による、 ふれあい広場が町民センターで開催されました。口 ビーでは、日用雑貨や野菜のフリーマーケット、介護 用品の展示・体験コーナーが設けられたほか、ステー ジでは児童センター「風の子キッズ」による一輪車の 演舞や、雄武中吹奏楽部による演奏が披露されました。 最後には恒例のもちまきが行われ、訪れた多くの人を 楽しませていました。



↑ロビーで行われたフリーマーケット

↓給食を食べる雄武小学校の児童



10/ 町内小中学校への給食食材無償提供 地元食材を給食に

子どもたちに地元の海産物を味わってもらおう と、雄武漁業協同組合から給食センターに雄武産の サケ 60kg が無償提供されました。同漁協では、毎 年ホタテやサケなどの食材を提供しており、今年で 12年目。この日、給食センターでは「サケのごま みそがけ」として調理し、町内小中学校の児童・生 徒に振る舞われました。雄武小では「一番美味しかっ た | 「毎日食べたい | など、お気に入りになってい たようでした。

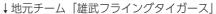
↓楽器演奏と歌唱による公演の様子



10/ 平成 30 年度芸術鑑賞会 音楽の秋を楽しもう

芸術鑑賞会が町民センターで開催され、若草保育 所および町内小学校の児童・職員など約300人が鑑 賞しました。

鑑賞会では、札幌市を中心に道内各地で公演を行 う音楽グループ「あみゅぜ。」が公演を行いました。「あ みゅぜ | (amuser) はフランス語で「楽しむ・遊ぶ | という意味があり、公演の中では児童たちも一緒に 体を動かす場面もあり、「あみゅぜ」という名前のと おり会場全体が楽しい空気に包まれていました。









10/ 雄武町長杯少年野球大会

雄武町長杯少年野球大会が町営球場 (農村広場)で開催され、紋別市、興 部町、雄武町からの4チームがトー ナメント戦で競いました。雄武フライ ングタイガース主将の石橋誠司くんが 「最後まで笑顔で」と宣誓を行い、選 手たちは詰め掛けた保護者からの声援 を背に健闘。雄武フライングタイガー スは、初戦石橋くんの快投や髙田くん のホームランなどで快勝。決勝戦は、 興部に敗れたものの、スタンドからは 選手の健闘を称え温かい拍手が贈られ ました。最優秀選手賞には、小森結斗 くん (興部)、優秀選手賞には、髙田 龍之介くん(雄武)が選ばれました。



そば打ち講習会

そばの香りに笑顔

中山間活性化施設で町特産品の「韃靼そば」を 使ったそば打ち講習会が行われました。おうむ手 打ち蕎麦の会のメンバーから教わりながら、受講 者は真剣な表情で取り組みました。完成したそば を茹でると、そばの良い香りと韃靼そば特有の薄 緑がかった色が茹でた鍋に広がりました。完成し たかけそばを試食した受講者は「いつも食べる乾 麺のそばと比べ、風味も食感も全然違い美味しい です」と笑顔で話していました。



↑手打ち蕎麦作りをする受講者

↓褒記を手にする花田一夫氏



花田一夫氏が紺綬褒章を受章

紺綬褒章は、公益のため私財を寄附し、功績が顕 著な方に対して国が顕彰するものです。花田一夫氏 は、昨年12月に、町に対して多額の寄附をされて おり、10月10日(水)に、中川原町長から褒章、木杯 および褒記が伝達されました。町ではこの寄附金を、 花田氏の希望に添える形で「ホテル日の出岬のソー ラー発電設備 | (来年3月完成予定)の費用に充てる こととしています。

広報おうむ 広報おうむ